

人権・同和教育シリーズ No.74

児童精神科医で長年、発達障がいのある人と家族への支援に努められてきた川崎医療福祉大学特任教授佐々木正美先生の講演を聞く機会がありました。

先生は、発達障がい児への支援のための療育プログラム TEACCH (ティーチ) をアメリカのノースカロライナから日本に持ち帰り、普及に尽力をされています。講演の中で「TEACCHプログラムの理念や目的は、発達障がいのある人がその特性を持ったまま、できるだけ自立的に生産的な活動をしながら、私たちと共に生きていくことを支援することである」と話されました。

この話の中で「発達障がい児が発達障がいという特性をもったまま」という言葉を重く受け止めることが大事だと思われました。発達障がい児の特性のうち代表的なものとして「人と上手に付き合えない」「コミュニケーションがうまくとれない」「想像力が乏しい・こだわりがある」などがあります。また言葉で聞くよりも、目で見たものを覚え、理解することが得意です。

つまり、発達障がい児は話だけを聞いてその内容を理解することは苦手なのです。何かを伝えるときに、口で説明をするだけでなく、他の方法を用いる必要があります。このときに、発達障がい児の特性を考え、得意なものは何かを知らることが大事だと思います。発達障がい児は目で見て理解することが得意です。実物を見せるとか、写真や絵を見せる、文字を書くなどの方法があるとあります。この方法だとコミュニケーションができます。伝えたいことが伝わります。このことは、発達障がいという特性をもったまま生きていくことを支援する一つの方法だと思います。

発達障がい児は障がいが見えにくいので、適切な支援を受けにくいことが多いと言われています。親のしつけが悪いかかわがままだと思われてしかられたり、抑圧されたりしながら大きくなった発達障がい児が、2次障がいや3次障がいのために、社会で生きていきづらくなっていることが多いと聞きます。適切な支援のために『知ること』から始めませんか？

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。

(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽笹本陽地 (三津屋) ▽廣田光俊 (石田) ▽国際ソロプチミストいしづち▽紅葉ASC第6回大会▽創作の家陶芸クラブ▽国興産業(株)▽三芳地区民生児童委員協議会▽松田歌謡教室

■養護老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子 (下島山甲) ▽新聞 芥川秀人 (神拝甲) ▽押し花指導 佐藤ミヨ (大町) ▽フラワーアレンジメント 白石啓子 (神拝甲) ▽歌・ハーモニカ演奏 徳増幾次郎 (天神) ▽さつま芋 西条地域労働者福祉協議会▽歌・踊り ひまわり幼稚園

■養護老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部▽歌・踊り 小松老人クラブ連合会女性部▽歌・似顔絵制作・劇 石根小学校1・2年生▽ビオラ寄せ植え 東予・周桑地域労働者福祉協議会

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽歌 玉井キヨ子 (小松町大頭) ▽カレンダー作り・喫茶 コープえひめ福祉グループ▽誕生会 琴修会大正琴小松グループ▽ビオラ寄せ植え 東予・周桑地域労働者福祉協議会

安全横断旗が寄贈されました

11月25日にJA西条、JA周桑から交通安全の推進を目的に、市内小学校1年生へ交通安全横断旗が寄贈されました。今回寄贈された横断旗は児童の安全対策のために活用させていただきます。



エコドライブのススメ 早めのアクセルオフ

車間距離を十分取り、一定の速度で走ることを心がけましょう。

一定速度で走行する場合、時速60km以上は高速になるほど燃費が悪化します。イライラ運転で速度にムラのある走り方をしても、燃費が悪化します。

余裕を持った運転は、環境にも人にもやさしい運転といえます。

